

学年

教科等

単元等

活用アプリ

小5

算数

小数の倍「倍を求める」

オクリンクプラス

授業
内容

もとにする量や比較する量が小数のときの倍の求め方を、図や式を使って考えよう

準備：

- ・共有コードを使用して、復習カード（復習①、②、筆算カード）、問題カード（カード①、②、③）を取得する。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

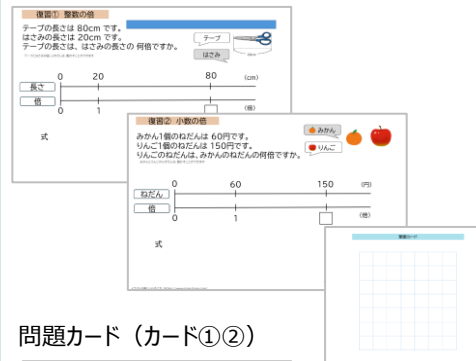
授業の流れ：

1. 各自、マイボードに送られた復習カードで整数と小数の既習事項を復習し、全体で復習カードの整数の倍、小数の倍の問題についてどのように考えたのか意見共有する。もとにする大きさの何倍にあたるかを求めるときに、わり算を使ったことを確認する。
2. 各自、復習したことをふまえて、カード①（数値が示されていないカード）を見て、テープを動かしながら「ピンク」「白」のテープの長さは、「きみどり」のテープの長さの何倍かを考える。
3. 各自、カード②（数値が示してあるカード）、カード③（数直線が示してあるカード）を見て、倍の求め方を考える。カード③の数直線上に「きみどり」「ピンク」「白」のふきだしをそれぞれの長さを表す位置に配置し、答えとなる位置に□を配置してから、「きみどり」のテープの長さを1としたときに「ピンク」「白」のテープの長さがそれぞれ何倍になるかを求める式とその答えを入力する。
4. 全体でどのように考えたのかを共有し、もとにする数が小数の場合も、もとにする大きさの何倍になるかを求めるときは、わり算を使うことを確認する。
5. カード③を提出BOXに提出する。

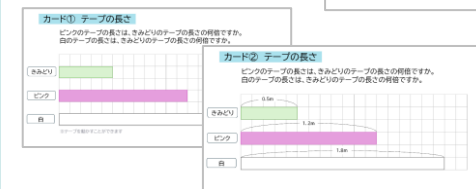
サポータ
おすすめ
ポイント

- ・長さが書かれていないテープ図で予想することで、もとにする数が小数の場合も、もとにする数の何倍になるかを整数と同じように考えることができます。
- ・長さが書かれていないテープ図で予想する、テープ図で考える、数直線で考えるというように順序だてて活動することで、つまずきが出にくく、理解の深まりが期待できます。

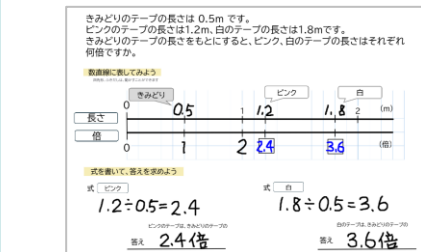
復習カード（復習①②、筆算カード）



問題カード（カード①②）



問題カード（カード③）入力例



共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01KN6948AEFR1RCF520CN3ME38

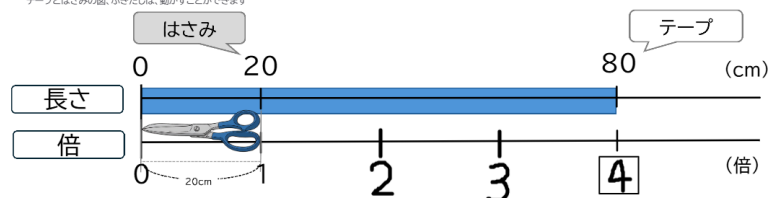
【カードの説明 1】 復習カード①②、筆算カードの入力例

復習 1

復習① 整数の倍

テープの長さは 80cm です。
はさみの長さは 20cm です。
テープの長さは、はさみの長さの 何倍ですか。

テープとはさみの端、ふきだしは、動かすことができます



式 $80 \div 20 = 4$

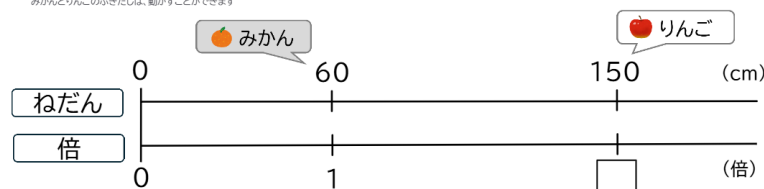
答え 4倍

復習 1

復習② 小数の倍

みかん1個のねだんは 60円です。
りんご1個のねだんは 150円です。
りんごのねだんは、みかんのねだんの何倍ですか。

みかんとりんごのふきだしは、動かすことができます



式 $150 \div 60 = 2.5$

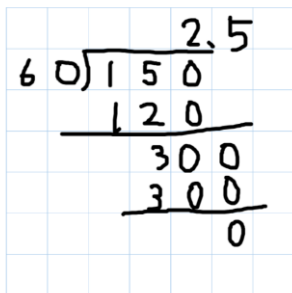
答え 2.5倍

イラスト出典:いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

■ ・ 10px

筆算カード

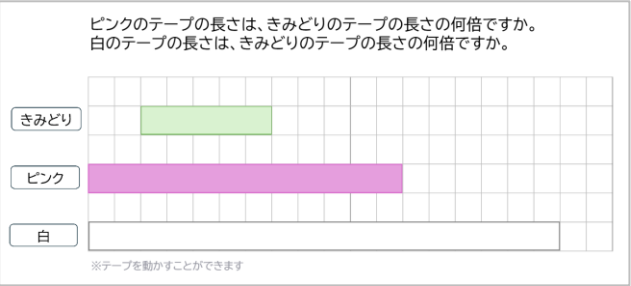
筆算カード



・筆算カードはコピーしてカード①～③の問題でも
お使いいただけます。

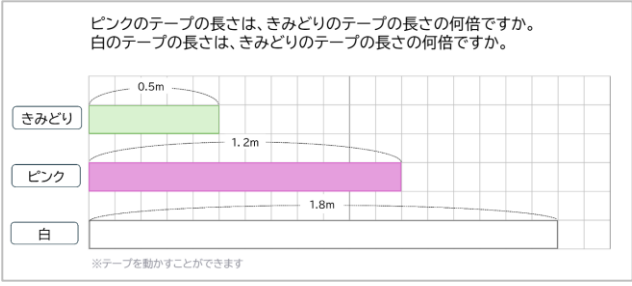
【カードの説明2】カード①～③の説明、入力例

カード①



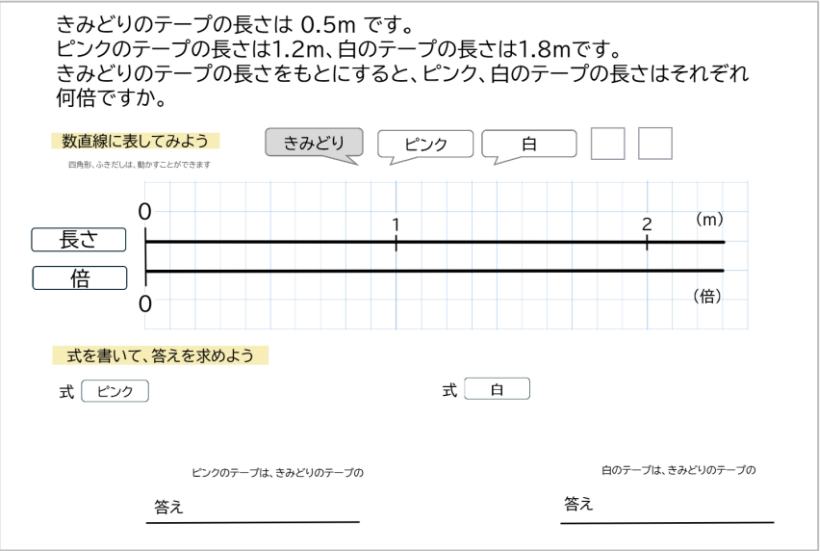
- ・数値が示されていないカードを見て何倍かを考えます。
- ・テープを動かしながら考えることができます。

カード②



- ・数値が示してあります。
- ※テープは固定してあります。

カード③



カード③：入力例

